

全国で育友会支部懇談会

学業や学生生活、就職支援について教職員がご父母・保護者に説明し、疑問や悩みを答える育友会(佐々木悟会長)の支部懇談会が7月28日から9月1日にかけて全国67支部63会場で開催された。

東京A・B・C支部

面談で疑問解消

東京A(田中敦子支部)と直接話すことができるの3支部合同懇談会は8月5日、神田キャンパスで開かれた。参加した268人のご父母・保護者は大学からの説明に耳を傾け、面談でそれぞれの疑問を解消していた。佐々木会長は「教職員



グループ面談で質問に答える佐藤雅幸経済学部教授

のコミュニケーションの「してほしい」と意義を説明。森川幸一法学部長は2020年の創立140周年に向けた取り組みを説明し「専修大学は常に新しいことにチャレンジしていく」と話した。学業や就職などについて教職員が説明した。午後には学部別の個人・グループ面談、就職グループ面談などが行われた。今回初めて留学・資



あいさつする佐々木会長

格グループ面談が行われ、関心を集めていた。法学部4年次男子の母親は「4年間欠かさず出席し、ここで知り合った方と情報交換できたことも楽しかった」と話した。夫婦で参加した法学部2年次女子の父親は「就職のことが知りたくて参加した。娘との会話のきっかけにもなり、有意義な時間を持つことができた」と笑顔で語った。



大学から就職活動に関する情報が伝えられた

静岡支部

就職状況に関心

静岡支部懇談会は8月26日、106人が参加し丸山茂樹支部長は「専修



熱心に話を聞くご父母・保護者

大学は他大学に先駆け、大学と保護者のつながりを持ってきた」とあいさつ。加藤浩平経済学部教授は日ごろの協力や支援に感謝の言葉を述べた。田中和雄商学部教授は「大学で何を学び、どう成長したか説明できることが重要。保護者の皆さんもその手助けを」と呼びかけた。



詳細な情報が提供されたグループ面談

「毎回説明が分かりやすい。就職活動では「過保護・過干渉・無関心はNG」との言葉を参考にしたい」と話した。企業採用活動は年々早期化しています。まずはガイダンスに出席し、これから始まる就職活動に向けて必要なことを確認し、就活のスタートを切りたい。

広島県知事 湯崎 英彦



広島で「欲張りなライフスタイル」実現

はじめに、7月豪雨災りに取り組んでいまは、本県の仕事と暮らし、全国の皆さまから「働き方改革」に積極的取り組み、温かい励ましをいただき、一人でも多く、企業や、オンリーワンの方に広島で活躍いただき、深く感謝申し上げます。さて、広島県において、皆さんが活躍できる、魅力的な企業がたくさんあります。欲張りなライフスタイルのあり、また、都市部と海・山間の就職の支援に取り組む、の自然が近い、でおり、県外に進学して、いる学生を対象とした、島の子供を支援する、の企業とのマッチング、の提供や、低学年から参加できる企業訪問・社員交流イベントなども充実した、自分らしいライフスタイルを実現させませんか。

※1 「広島おとな会議」で検索
※2 <https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hiroshima-uij/>

島根県と就職支援協定

専修大学は8月24日、島根県とU・Iターン就職を促進するための協定を締結した。学生や保護者に対し島根県内の企業情報や各種イベントの周知、学生の県内企業へのインターンシップ参加支援など8項目で連携していく。7月30日には岐阜

就職課から

「4年次生へ」就職活動の状況はいかがでしょうか。また内定を得ていないと焦る必要はありません。9月21日(金)には、ハローワーク(川崎・相模原・小田原)との共催で、学内企業説明会



高橋部長は他自治体と協定書を交わす高橋就職部長(右)と新田商工労働

の就職に関する取り組みや、翌25日の出雲市での育友会支部懇談会で保護者に本締結を伝えると語り、「島根県に根ざした優良企業を紹介してもらい、積極的に学生や保護者に周知したい」と力を込めた。

inサテライトを開催します。採用意欲の高い46社が参加予定です。これまで視野に入れていなかった業界や職種を新たに発見するチャンスです。ぜひ参加してください。また、同様の説明会1回就職ガイダンスに出席してください。この機会を今後開催する予定です。詳細は決定次第、ポイダンスでは、就職活動を切ります。

U・I・Jターン説明会

10/9 生田キャンパス
L.O活(LOCAL+就活)・地方就職に役立つ情報を提供する厚生労働省のプロジェクト)主催の地方就職希望者のための講座もある。説明会は6月に開催したのに続いて2回目。参加無料、入退場自由、事前申し込み不要。岡山就職課 044・911・1269